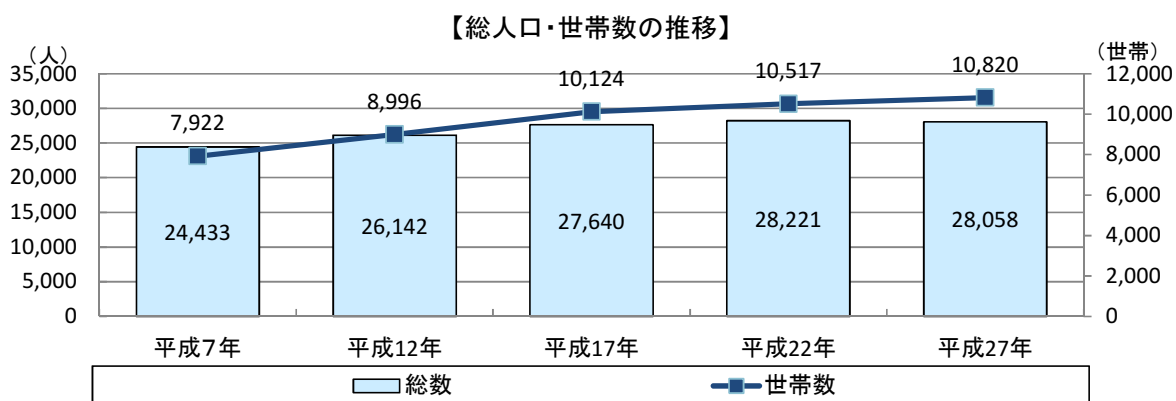


第2章 地域の現状と課題

1 人口・世帯の状況

(1) 総人口の推移

総人口は平成 22（2010）年まで増加をしていましたが、平成 27（2015）年では減少に転じ、28,221 人から 28,058 人へ減少しました。しかし、世帯数は増加しており、平成 27 年では 10,820 世帯となっています。



資料: 国勢調査

地区別人口の推移をみると、平成 22（2010）年から平成 27（2015）年にかけて増加したのは日出地区のみでした。また、減少率の高い地区は、南端地区と大神地区となっています。

【地区別人口の推移】

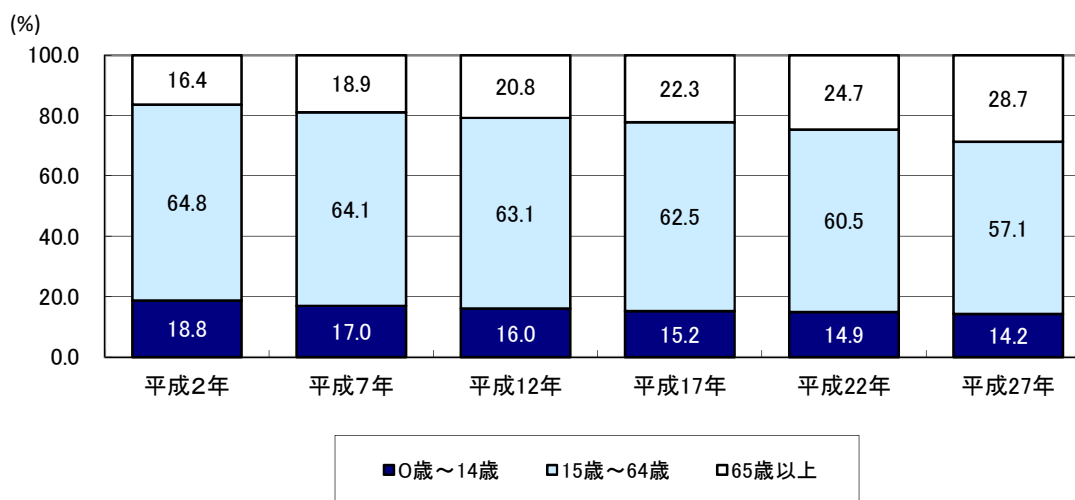
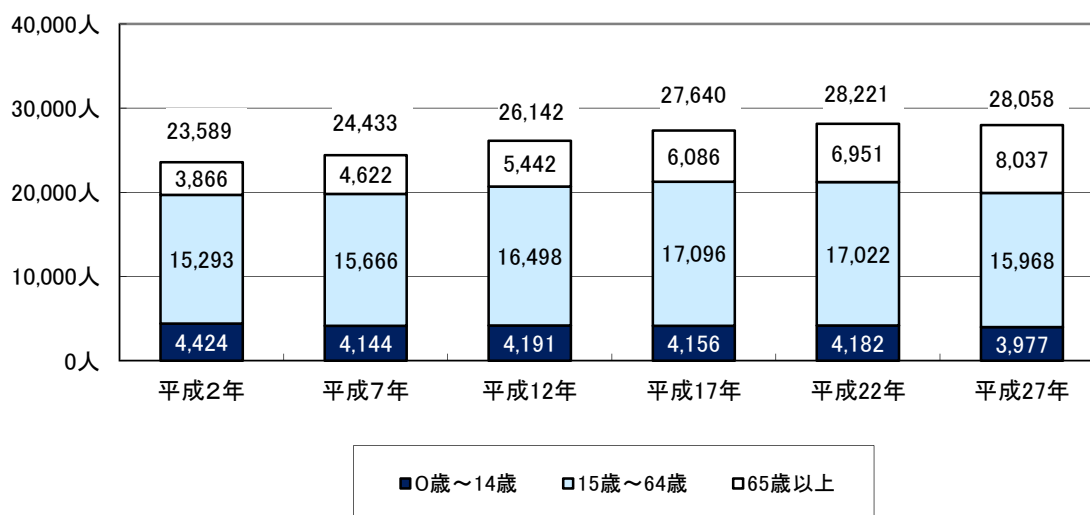
地区	項目	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
南端	人口(人)	424	383	349	319	289
	増減率(%)	△ 12.8	△ 9.7	△ 8.9	△ 8.6	△ 9.4
豊岡	人口(人)	6,547	6,803	7,162	7,226	7,104
	増減率(%)	6.1	3.9	5.3	0.9	△ 1.7
日出	人口(人)	4,284	4,646	5,365	5,862	5,981
	増減率(%)	2.7	8.5	15.5	9.3	2.0
藤原	人口(人)	3,738	3,871	3,855	3,822	3,800
	増減率(%)	6.4	3.6	△ 0.4	△ 0.9	△ 0.6
川崎	人口(人)	4,791	5,436	5,744	5,863	5,858
	増減率(%)	7.9	13.5	5.7	2.1	△ 0.1
大神	人口(人)	5,446	5,571	5,520	5,539	5,026
	増減率(%)	0.8	2.3	△ 0.9	0.3	△ 9.3

資料: 住民基本台帳・各年 10 月 1 日現在

(2)年齢階層別の人口の推移

年齢3区分別人口をみると、0～14歳（年少人口）・15～64歳（生産年齢人口）は減少傾向となっていますが、65歳以上（高齢者人口）は増加傾向にあり、平成27年では総人口の28.6%となっており、約1/3を占めています。

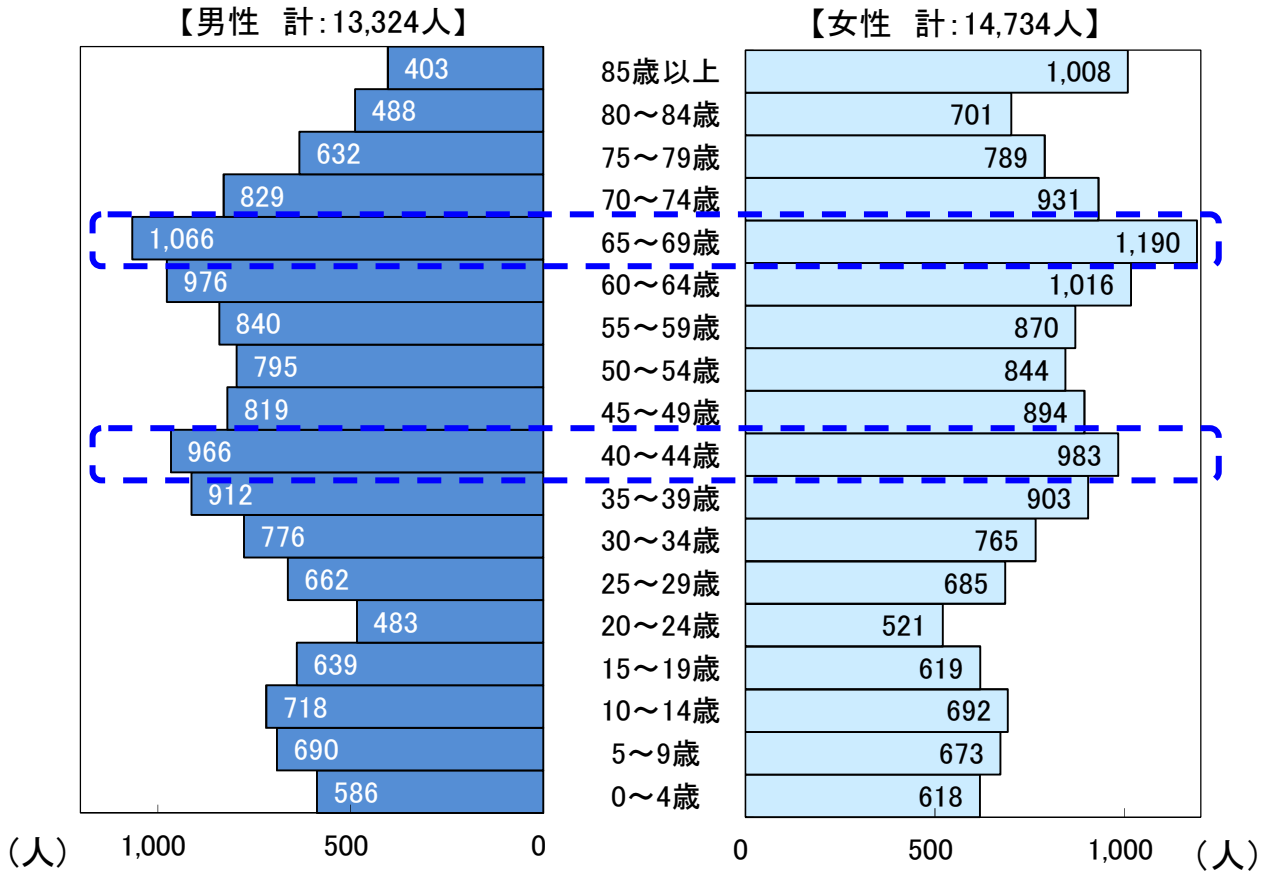
【年齢3区分別人口の推移】



資料：国勢調査

人口ピラミッドをみると、65～69 歳を中心とした団塊の世代と 40～44 歳を中心とした子育て世代が多くなっています。

【人口ピラミッド】

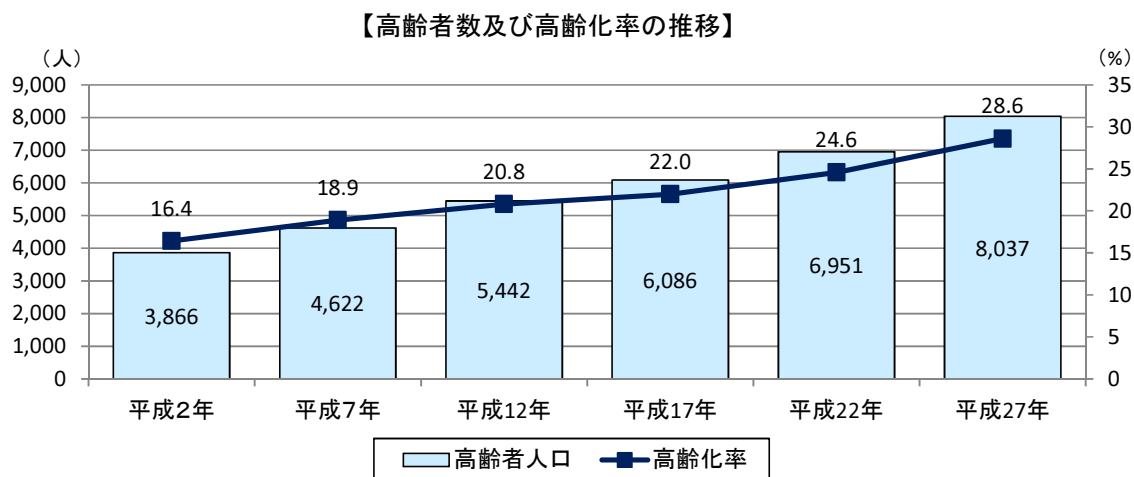


資料: 国勢調査

2 要援護者等の状況

(1) 高齢者の状況

高齢者数は年々増加し、それに伴い高齢化率も高くなっており、平成27年には8,037人で高齢化率は28.6%となっています。



資料: 国勢調査

65歳以上の高齢者世帯の推移をみると、65歳以上の高齢者のいる世帯の総数は増加傾向にあり、平成27年で4,961世帯となっています。ひとり暮らしの世帯についても増加傾向にあり、平成27年では1,288世帯で一般世帯総数の11.9%を占めています。高齢者夫婦世帯は平成27年で1,595世帯となっており、一般世帯総数の14.7%を占めています。

【65歳以上の高齢者世帯の推移】

		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
一般世帯総数		7,909	8,960	9,830	10,492	10,820
65歳以上の 高齢者のいる世帯	世帯数	3,219	3,648	4,017	4,389	4,961
	構成比	40.7%	40.7%	40.9%	41.8%	45.9%
ひとり暮らしの 世帯	世帯数	497	654	815	924	1,288
	構成比	6.3%	7.3%	8.3%	8.8%	11.9%
高齢者夫婦世 帯	世帯数	802	979	1,157	1,377	1,595
	構成比	10.1%	10.9%	11.8%	13.1%	14.7%
その他の世帯	世帯数	1,920	2,015	2,045	2,088	2,078
	構成比	24.3%	22.5%	20.8%	19.9%	19.2%

資料: 国勢調査

地区別の高齢化率をみると、日出地区が24.4%で最も低くなっています。一方、南端地区が48.8%で最も高くなっています。

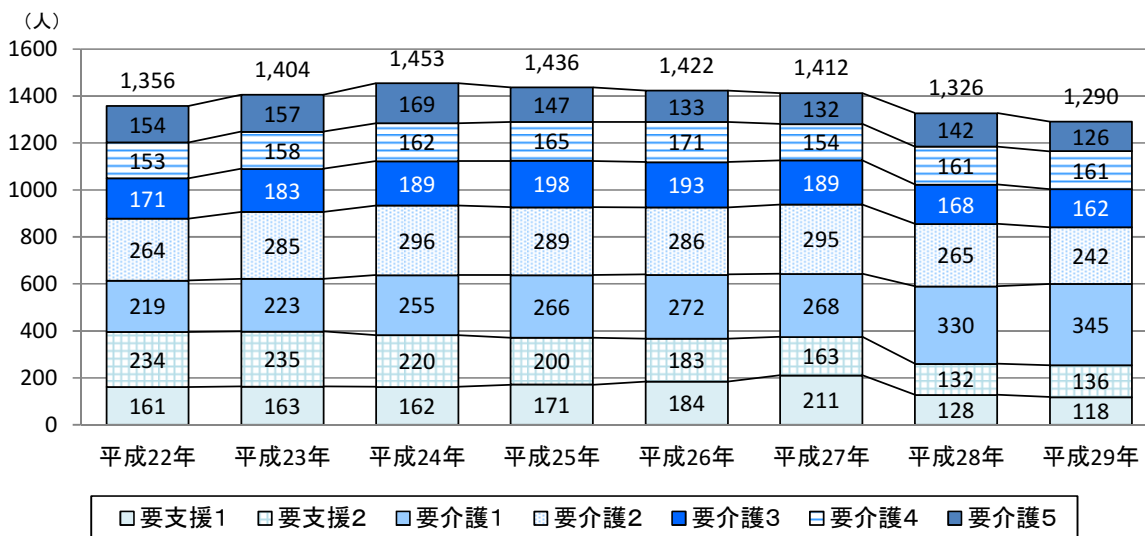
【地区別高齢化率】

地区	南端	豊岡	日出	藤原	川崎	大神
総人口	283	7,193	5,912	3,890	6,080	5,192
65歳以上人口	138	2,140	1,441	1,185	1,577	1,754
高齢化率	48.8%	29.8%	24.4%	30.5%	25.9%	33.8%

資料: 住民基本台帳・平成29(2017)年9月末現在

要支援・要介護認定者数は、平成24年を頂点としてそれ以降減少傾向にあります。要支援・要介護度別にみると特に要支援1・2が減少傾向にあることがうかがえます。逆に、要介護1の認定者は増加傾向にあります。

【要支援・要介護認定者数の推移】

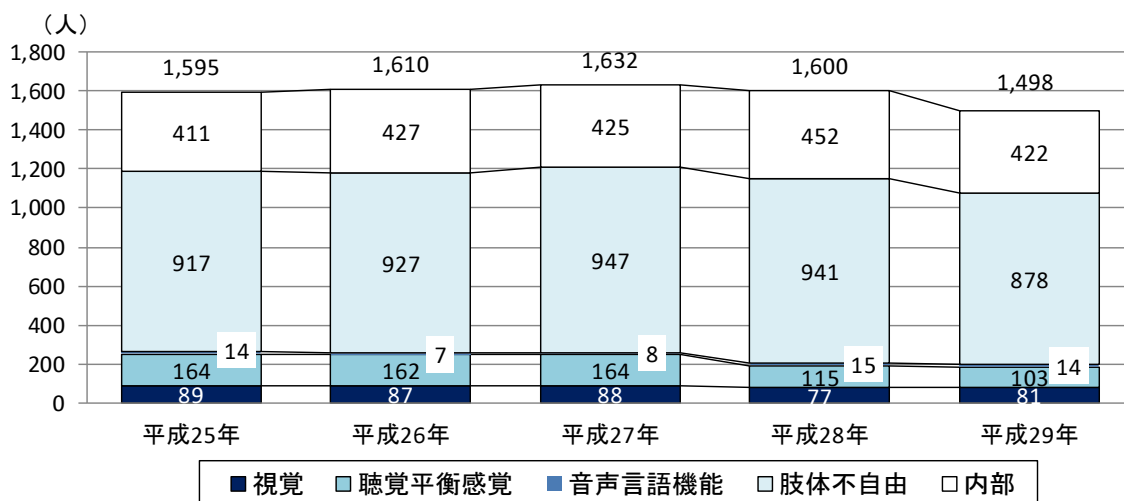


資料: 大分県東部保健所報

(2)障がいのある人の状況

身体障害者児手帳所持者数は、この5年をみると、平成27年を頂点として減少しており、平成29年では1,498人となっています。障がいの部位別にみると、各年ともに肢体不自由が多くなっています。平成25年と比較すると、肢体不自由と聴覚平衡感覚が減少しています。

【身体障害者手帳所持者】

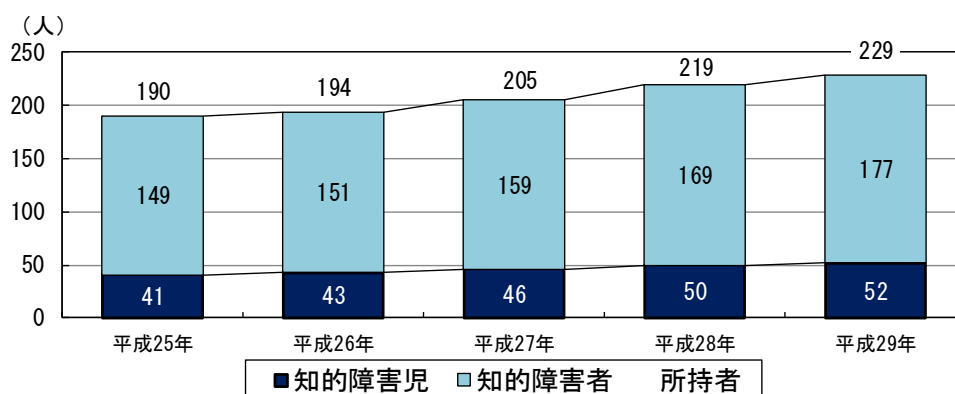


【身体障害者児手帳所持者数の推移】

資料：大分県東部保健所報

療育手帳所持者数は年々増加傾向にあり、平成29年では229人となっています。知的障害児・知的障害者ともに増加傾向にありますが、知的障害者の増加数が大きくなっています。

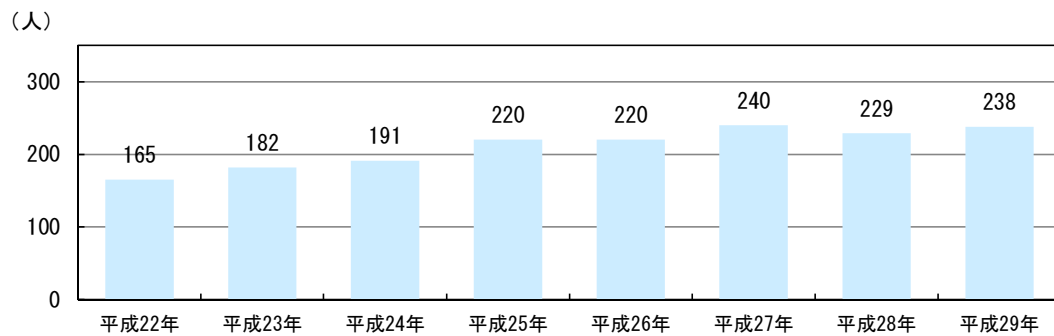
【療育手帳所持者数の推移】



資料：大分県東部保健所報

精神障害者保健福祉手帳所持者数は、平成 25 年からほぼ横ばいとなっています。

【精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移】



資料：大分県東部保健所報

(3) 避難行動要支援者の状況

災害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者で「避難行動要支援者名簿」に登録されている者は 1,473 名となっています。

【要配慮者の状況】(平成 29 年 4 月現在)

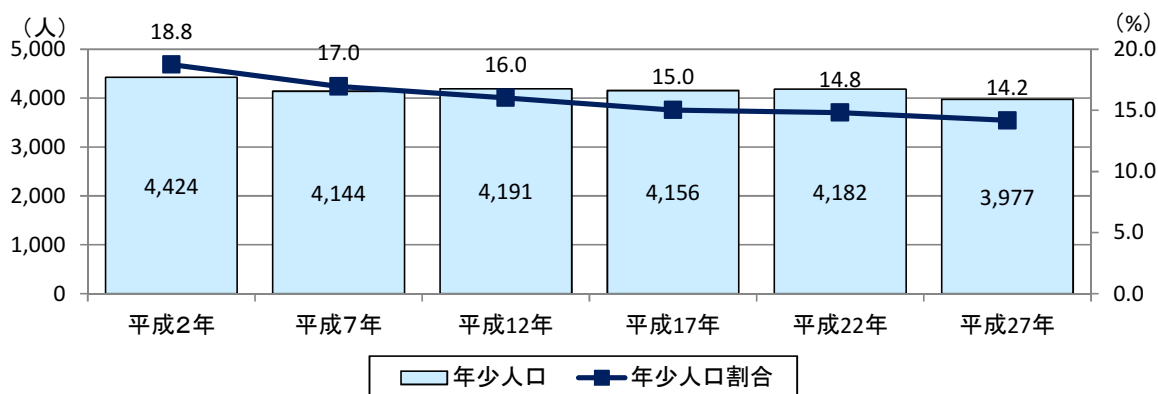
ひとり暮らし (65歳以上)	寝たきり	認知症	身体障害 (肢体・内部)	身体障害(視力)	身体障害(聴力)	知的障害	精神障害	難病・特殊治療 ケア
8,174	283	833	1,300	81	117	230	240	219

資料：福祉対策課

(4)児童の状況

年少人口は減少傾向にあり、平成27年では3,977人となっています。同様に年少人口割合について減少傾向にあり、平成27年では14.2%となっています。

【年少人口及び年少人口率の推移】



資料:国勢調査

子どものいる世帯の状況をみると、核家族世帯は増加傾向にあり、平成27年の国勢調査では、18歳未満の子どものいる世帯では84.0%、6歳未満のいる子どもの世帯では87.1%となっています。また、ひとり親世帯についても増加しています。

【18歳未満・6歳未満の子どものいる世帯の推移】

		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
18歳未満の 子どもがいる世帯	世帯数	2,734	2,755	2,808	2,821	2,717	
	構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	核家族世帯	世帯数	1,793	1,956	2,124	2,234	2,281
		構成比	65.6%	71.0%	75.6%	79.2%	84.0%
	ひとり親世帯	世帯数	83	116	157	187	201
		構成比	3.0%	4.2%	5.6%	6.6%	7.4%
三世帯・その他の家族世帯	世帯数	941	799	684	587	428	
構成比	34.4%	29.0%	24.4%	20.8%	15.8%		
6歳未満の 子どもがいる世帯	世帯数	1,060	1,133	1,208	1,217	1,117	
	構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	核家族世帯	世帯数	740	863	999	1,027	973
		構成比	69.8%	76.2%	82.7%	84.4%	87.1%
	ひとり親世帯	世帯数	20	31	33	39	35
		構成比	1.9%	2.7%	2.7%	3.2%	3.1%
三世帯・その他の家族世帯	世帯数	320	270	209	190	139	
構成比	30.2%	23.8%	17.3%	15.6%	12.4%		

資料:国勢調査

3 地域の支え合いの状況

(1) 社会福祉協議会

私たちの身のまわりには、複雑化・多様化した生活課題を抱え孤立している人、障がいのある方の生活、青少年の引きこもりや未就労、生活困窮者の問題など多くの課題があります。

社会福祉協議会は、法的に位置づけられた民間の社会福祉法人です。住民が会員となり、関係機関や団体、行政、専門家等と協働しながら解決に取り組んでいます。また、ボランティアリーダーの育成や住民活動の支援、福祉教育等を通して地域支え合いの強化を図っています。

みんなで考え、協働し、だれもが安心して暮らすことのできるまちづくりを目指しています。

(2) 民生委員児童委員、主任児童委員

民生委員（児童委員を兼ねる）は、社会福祉増進のために活動しています。主任児童委員は児童福祉に関する事項を専門に担当しています。

町内では民生委員児童委員の60人、主任児童委員の5人が厚生労働大臣から委嘱（任期3年）され、生活に困っている人や高齢者、障がいのある人、ひとり親家庭、児童問題などの相談への対応や助言などを行っています。

(3) ボランティア団体

日出町社会福祉協議会で活動支援・協働しているボランティアは、平成29年12月現在で13団体、個人4人となっています。

食育活動、交通安全活動、障がい児者理解の啓発運動・活動支援、健康づくり活動、子育て支援活動など、多分野にわたり活動しています。

(4) NPO 法人(非営利活動組織)

日出町では保健医療福祉、まちづくり、子育てなどのさまざまな分野で住民活動やサービス事業を展開するNPO法人が8団体組織され活動を行っています。

公的なサービスでは対応しきれない住民の困りごとなどに支援の手を差し伸べるなど、きめ細かく柔軟な対応が可能のため、民間サービス事業者の1つの形態として日常生活に今後、ますます浸透していくことが期待されます。

4 社会福祉施設・資源の状況

(1) 高齢者福祉施設・介護保険施設

施設の種類	施設名称等
居宅介護支援事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエル藤原 ケアプランセンター ・日出町社会福祉協議会 指定居宅介護支援事業所 ・ケアプランセンター 暘谷苑 ・ライフホームまない 介護保険サービスセンター ・ひじ介護支援ステーション ・指定居宅介護支援事業所 サンライズ・ビュー ・有限会社 うの福祉サービス ・ケアプランセンター 暘谷苑・堀 ・介護支援サービスセンター すずらん ・指定居宅介護支援事業所 ぶらすわん
地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・日出町地域包括支援センター
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	<ul style="list-style-type: none"> ・日出町社会福祉協議会 指定訪問介護事業所 ・暘谷苑 ホームヘルプサービス ・ジュエル藤原 ヘルパーステーション ・ライフホームまない ヘルパーステーション ・ヘルパーステーション デイリーライフ ・有限会社 うの福祉サービス ・訪問介護事業所 ケア・ホープ豊岡 ・ホームヘルパーステーション サンライズ・ビュー
訪問入浴	<ul style="list-style-type: none"> ・暘谷苑 訪問入浴サービス
訪問看護ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ひじ訪問看護ステーション ・訪問看護ステーション サンライズ・ビュー ・暘谷苑 訪問看護ステーション
訪問リハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・鈴木病院
福祉用具貸与	<ul style="list-style-type: none"> ・有限会社 介護ショップゴロちゃん
通所介護(デイサービス)	<ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスセンター めくもりの里 ・ライフホームまない デイサービスセンター ・デイサービスセンター サンライズ ・うのスマイル デイサービスセンター ・デイサービスセンター 紬寿里 ・デイサービスセンター まれぞら ・通所介護 おおがの郷 ・デイサービスセンター 笑みの杜おおが ・デイサービス きらきら ・リハビリ特化型 デイサービス フィットネス暘谷苑 ・デイサービス 暘谷苑・豊岡 ・デイサービスセンター ぶらすわん

通所リハビリテーション (デイケア)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設 みずき ・介護老人保健施設 サンライズ・ビュー ・デイケア すずらん
小規模多機能型居宅介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエル藤原 ・ケアホーム すずらん
短期入所生活介護 (ショートステイ)	<ul style="list-style-type: none"> ・暘谷苑 ショートステイサービス ・短期入所生活介護 サンライズ・ビュー ・短期入所生活介護 ショートステイサンライズ ・介護付有料老人ホーム ウェルファ豊丘
グループホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム すずらん ・グループホーム サンライズ
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム 暘谷苑
介護老人保健施設	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設 すずらん ・介護老人保健施設 みずき ・介護老人保健施設 サンライズ・ビュー
特定施設	<ul style="list-style-type: none"> ・介護付有料老人ホーム ウェルファ豊丘
住宅型有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュエル藤原 ・住宅型有料老人ホーム 暘谷苑 ・ライフホームまない ・住宅型有料老人ホーム・サンライズ ・住宅型有料老人ホーム 悠久の里 ・有料老人ホーム 希空 ・住宅型有料老人ホーム ウェルファ豊丘
シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター

資料:平成29年 日出町介護情報誌

(2)子育て支援施設

施設の種類の	施設名称等
地域子育て支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・日出町地域子育て支援センターHUGくみ
保育所(大分県認可)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡保育園 ・暘谷保育園 ・大神保育園
認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> ・日出やまとこども園 ・藤原こども園 ・山茶花こども園 ・野に咲くこども幼児舎 ・川崎こども園
児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・日出町児童館 ・さざんか児童館

資料:福祉対策課の概要

(3)障がい者福祉施設

施設の種類		施設名称等
相談支援		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽の家障害者生活支援センター ・みのり障がい者生活支援センター ・相談支援事業所 ほほえみ ・ナザレトの家相談支援センター ・サポートひまわり ・障がい者相談支援センター陽谷苑
就労支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいステーション ひので ・福祉農園 ハイテク ・ナザレトの家 ・希の輪 ・みのりスマイル
共同生活援助 施設入所支援		<ul style="list-style-type: none"> ・希望の苑・のぞみ ・共同生活援助事業所けいせん ・グループホーム みのり村 ・グループホーム希の輪 ・グループホーム陽谷苑 ・第1みのり学園 ・第2みのり学園 ・白百合園 ・ゆうわ
福祉ホーム		<ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者福祉ホーム「大神ハイツ」
生活介護		<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいスポット 虹 ・第1みのり学園 ・第2みのり学園 ・白百合園 ・ゆうわ
施設入所支援 放課後等デイサービス		<ul style="list-style-type: none"> ・第1みのり学園 ・みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」 ・こどもデイサービス ひまわり ・こどもデイサービス スイートピー
その他	短期入所	<ul style="list-style-type: none"> ・第1みのり学園 ・第2みのり学園 ・白百合園 ・ゆうわ ・大分県溪泉寮 けいせんプラザ
	日中一時支援	<ul style="list-style-type: none"> ・みのり学園児童発達支援センター「プリンちゃん」 ・第1みのり学園 ・第2みのり学園 ・白百合園
	居宅介護	<ul style="list-style-type: none"> ・日出町社会福祉協議会障害者訪問介護事業所 ・自立生活センター 速見 ・うの福祉サービス ・ヘルパーステーション デイリーライフ
	移動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーステーション デイリーライフ
救護施設		<ul style="list-style-type: none"> ・救護施設「大分県溪泉寮」

資料:福祉対策課の概要

(4)その他の保健福祉施設

施設の種類	施設名称等
保健センター	・日出町保健福祉センター

資料:福祉対策課の概要、行政機関データ

(5)ふれあいセンター・地区公民館

施設の種類	施設名称等
ふれあいセンター/ 地区公民館	・南端地区公民館 ・豊岡ふれあいセンター/豊岡地区公民館 ・藤原ふれあいセンター/藤原地区公民館 ・川崎ふれあいセンター/川崎地区公民館 ・大神ふれあいセンター/大神地区公民館

(6)教育関連施設(公立)

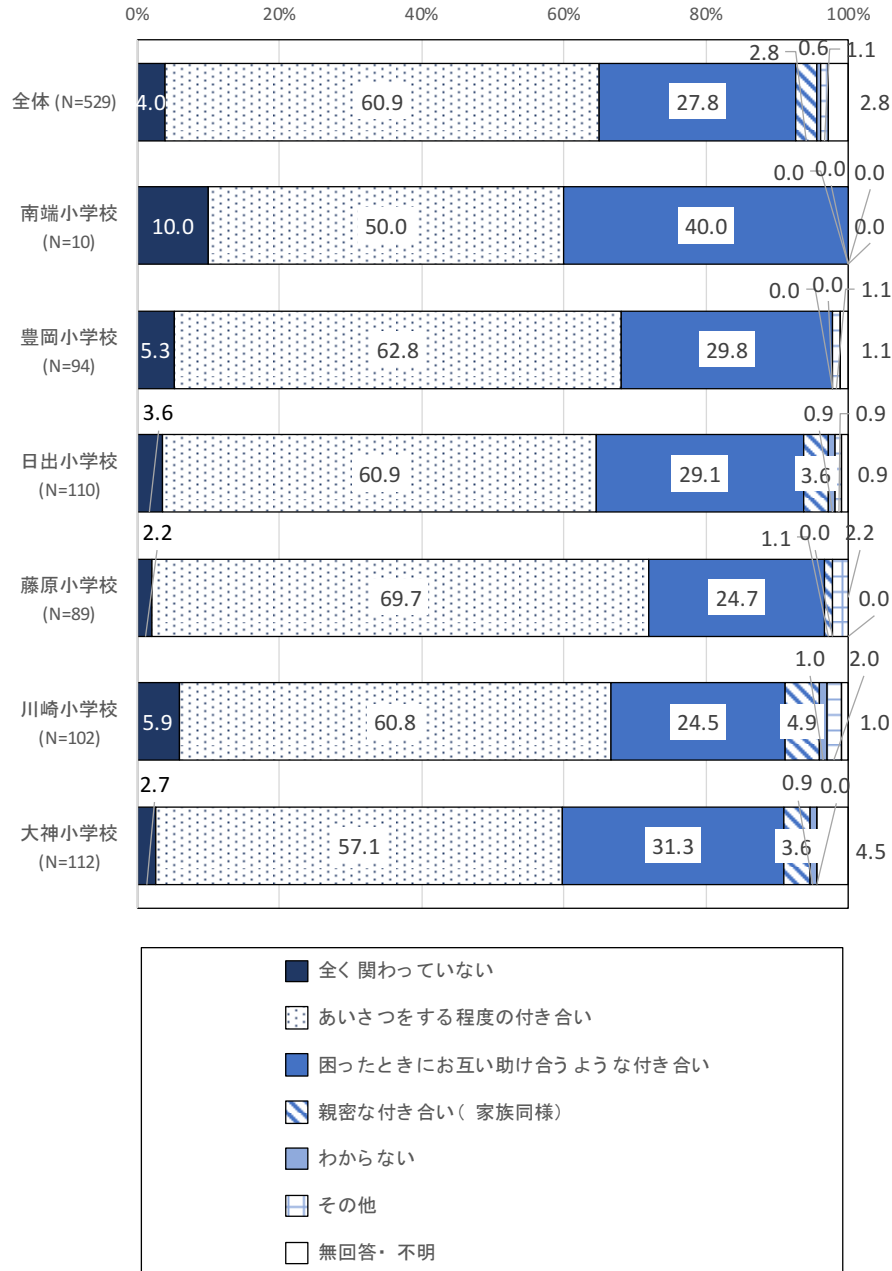
施設の種類	施設名称等
文化関連施設	・日出町中央公民館 ・日出町立図書館 ・日出町立歴史資料館 ・川崎体育館 ・致道館 ・帆足萬里記念館
幼稚園	・日出町立日出幼稚園 ・日出町立大神幼稚園 ・日出町立豊岡幼稚園 ・日出町立川崎幼稚園 ・日出町立藤原幼稚園
小学校	・日出町立日出小学校 ・日出町立川崎小学校 ・日出町立大神小学校 ・日出町立藤原小学校 ・日出町立豊岡小学校 ・日出町立南端小学校(休校中)
中学校	・日出町立日出中学校 ・日出町立南端中学校(休校中) ・日出町立大神中学校
高等学校	・大分県立日出総合高等学校
特別支援学校	・大分県立日出支援学校

資料:福祉対策課の概要、行政機関データ

5 住民意識調査の概要

(1) 地域生活の状況や日常生活の課題について

① 近所の方々とどのような付き合いをしているか

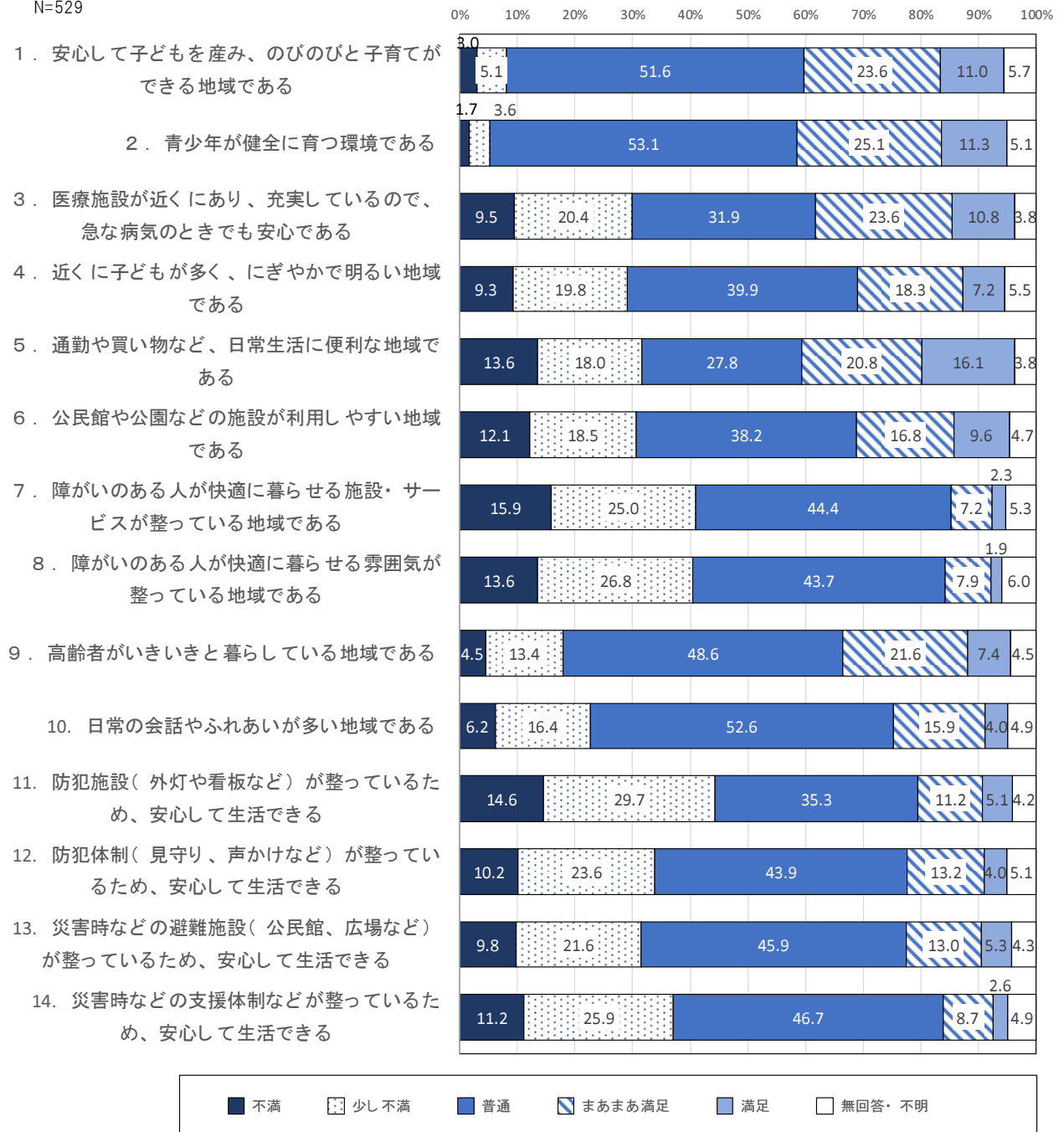


「あいさつをする程度の付き合い」が最も高く 60.9%でした。次いで、「困ったときにお互い助け合うような付き合い」が 27.8%となっています。

小学校区別にみると、各地区で「あいさつをする程度の付き合い」が最も高く、次いで、「困ったときにお互い助け合うような付き合い」となっています。

② 自分の住んでいる地域（小学校区）にどの程度満足しているか

<単数回答>
N=529



全体でみると、「不満」と「少し不満」を合わせた『不満である』については、「防犯施設（外灯や看板など）が整っているため、安心して生活できる」が 44.3%で最も高く、次いで「障がいのある人が快適に暮らせる施設・サービスが整っている地域である」が 40.9%となっています。「満足」と「まあまあ満足」を合わせた『満足である』については、「通勤や買い物など、日常生活に便利な地域である」が 36.9%で最も高く、次いで「青少年が健全に育つ環境である」が 36.4%となっています。

③ 日常生活の中で日ごろ不安に思っていること

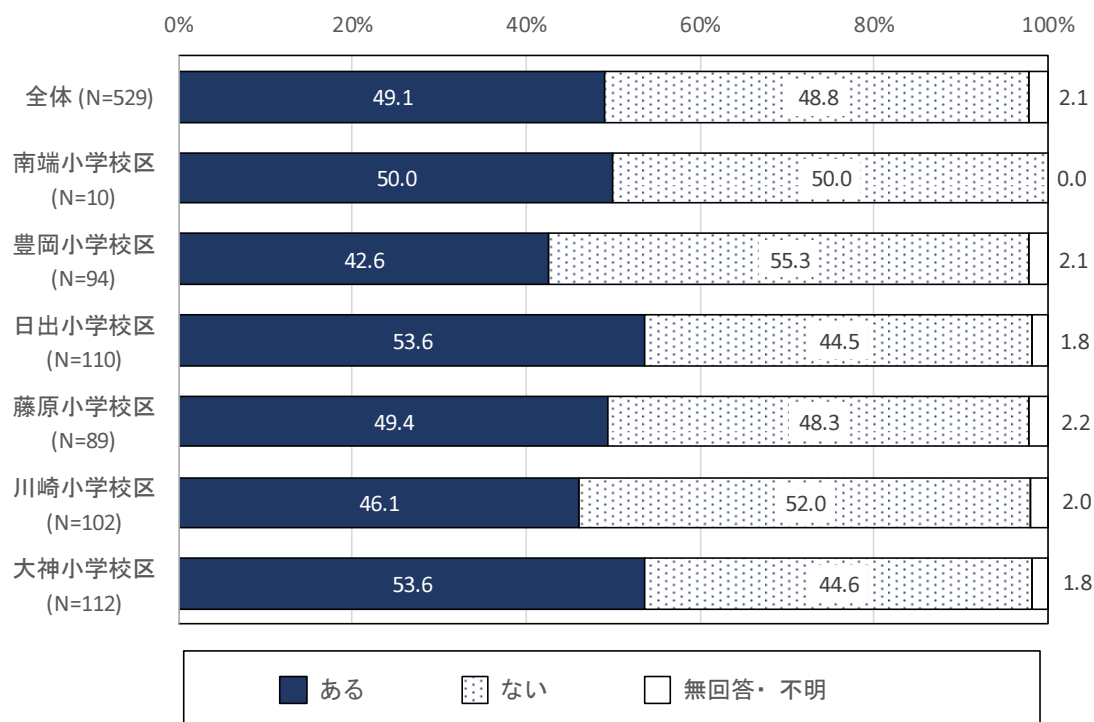
上段:度数 下段:%	合計	自分や家族の健康に関すること	老後の生活や介護に関すること	生活費など経済的問題	仕事に関すること	育児・子育てに関すること	家族・親戚との人間関係	近所の人との関係
合計	529 100	162 30.6	248 46.9	147 27.8	73 13.8	59 11.2	24 4.5	23 4.3
南端小学校区	10 100	3 30.0	6 60.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	- -
豊岡小学校区	94 100	21 22.3	35 37.2	17 18.1	10 10.6	10 10.6	3 3.2	3 3.2
日出小学校区	110 100	38 34.5	58 52.7	31 28.2	20 18.2	15 13.6	5 4.5	9 8.2
藤原小学校区	89 100	31 34.8	46 51.7	30 33.7	13 14.6	10 11.2	6 6.7	4 4.5
川崎小学校区	102 100	33 32.4	41 40.2	25 24.5	13 12.7	6 5.9	4 3.9	3 2.9
大神小学校区	112 100	32 28.6	57 50.9	37 33	15 13.4	16 14.3	5 4.5	3 2.7
上段:度数 下段:%	住まいに関すること	地域の治安に関すること	地域防災に関すること	人権問題に関すること	地区・自治会活動に関すること	特にない	その他	無回答・不明
合計	35 6.6	24 4.5	56 10.6	5 0.9	45 8.5	89 16.8	5 0.9	36 6.8
南端小学校区	- -	- -	2 20.0	- -	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0
豊岡小学校区	6 6.4	2 2.1	14 14.9	- -	4 4.3	23 24.5	- -	10 10.6
日出小学校区	3 2.7	7 6.4	12 10.9	1 0.9	9 8.2	12 10.9	2 1.8	6 5.5
藤原小学校区	9 10.1	2 2.2	5 5.6	1 1.1	8 9	14 15.7	1 1.1	5 5.6
川崎小学校区	7 6.9	9 8.8	11 10.8	2 2.0	8 7.8	19 18.6	1 1.0	8 7.8
大神小学校区	10 8.9	3 2.7	10 8.9	- -	14 12.5	17 15.2	- -	5 4.5

「老後の生活や介護に関すること」が最も高く46.9%でした。次いで、「自分や家族の健康に関すること」、「生活費など経済的問題」となっています。

小学校区別にみると、どの地域も「老後の生活や介護に関すること」が最も高くなっています。藤原小学校区では「生活費など経済的問題」が33.7%と、他の校区よりも少し高くなっています。

(2) 地域・ボランティア活動などの参加について

① 地域活動やボランティア活動をしたことがあるか



「ある」が49.1%、「ない」が48.8%となっています。

小学校区別にみると、豊岡小学校区以外「ある」「ない」がおおよそ半数程度になっています。豊岡小学校区では、「ある」が42.6%、「ない」が55.3%になっています。

② 今後、地域の中で助け合い活動としてできること、やってみたいこと

上段:度数 下段:%	合計	買い物、食 事の世話	掃除、洗濯	外出時の車 等による送 迎	薬の管理	心配事な どの相談相手	急病にな ったときの 看病	外出時の子 どもの世話	役場などへ の届出
合計	529 100	29 5.5	28 5.3	48 9.1	6 1.1	36 6.8	13 2.5	31 5.9	25 4.7
南端小学校区	10 100	- -	1 10.0	4 40.0	- -	2 20.0	- -	- -	2 20.0
豊岡小学校区	94 100	8 8.5	5 5.3	11 11.7	1 1.1	6 6.4	1 1.1	5 5.3	5 5.3
日出小学校区	110 100	6 5.5	1 0.9	6 5.5	2 1.8	8 7.3	- -	5 4.5	3 2.7
藤原小学校区	89 100	5 5.6	6 6.7	9 10.1	1 1.1	5 5.6	3 3.4	10 11.2	5 5.6
川崎小学校区	102 100	6 5.9	10 9.8	10 9.8	1 1.0	6 5.9	7 6.9	6 5.9	5 4.9
大神小学校区	112 100	4 3.6	5 4.5	8 7.1	1 0.9	9 8.0	2 1.8	5 4.5	5 4.5
上段:度数 下段:%	ゴミ出し	安否確認の 声かけ	地域行事の 手伝い	環境美化活 動	日常の話し 相手	日常の金銭 管理（銀 行、郵便局 等での年金 受け取りな ど）	その他	特にな い	無回答・不 明
合計	30 5.7	112 21.2	137 25.9	101 19.1	60 11.3	3 0.6	8 1.5	171 32.3	45 8.5
南端小学校区	- -	2 20.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	- -	- -	3 30.0	1 10.0
豊岡小学校区	1 1.1	18 19.1	17 18.1	19 20.2	11 11.7	1 1.1	1 1.1	36 38.3	6 6.4
日出小学校区	9 8.2	26 23.6	29 26.4	21 19.1	11 10.0	1 0.9	2 1.8	31 28.2	9 8.2
藤原小学校区	5 5.6	20 22.5	26 29.2	17 19.1	7 7.9	- -	1 1.1	30 33.7	4 4.5
川崎小学校区	9 8.8	21 20.6	28 27.5	18 17.6	17 16.7	- -	1 1.0	32 31.4	8 7.8
大神小学校区	6 5.4	24 21.4	33 29.5	23 20.5	11 9.8	1 0.9	3 2.7	33 29.5	14 12.5

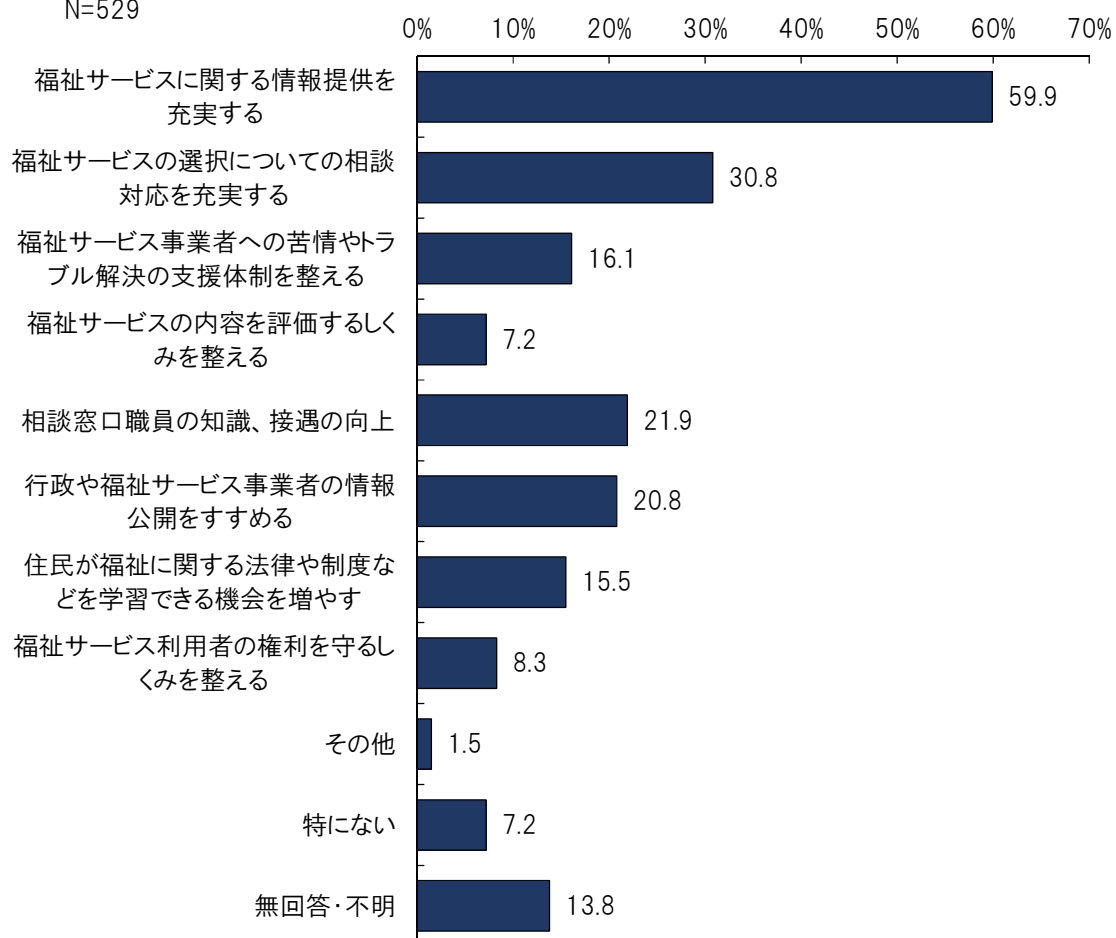
「特にない」を除くと、「地域行事の手伝い」が最も高く 25.9%でした。次いで、「安否確認の声かけ」が21.2%、「環境美化活動」19.1%となっています。

小学校区別にみると、豊岡小学校区以外の各校区では「地域行事の手伝い」が最も高くなっており、豊岡小学校区では「環境美化活動」が最も高くなっています。

(3) 福祉サービスなどについて

① 適切な福祉サービスの利用のために必要なこと

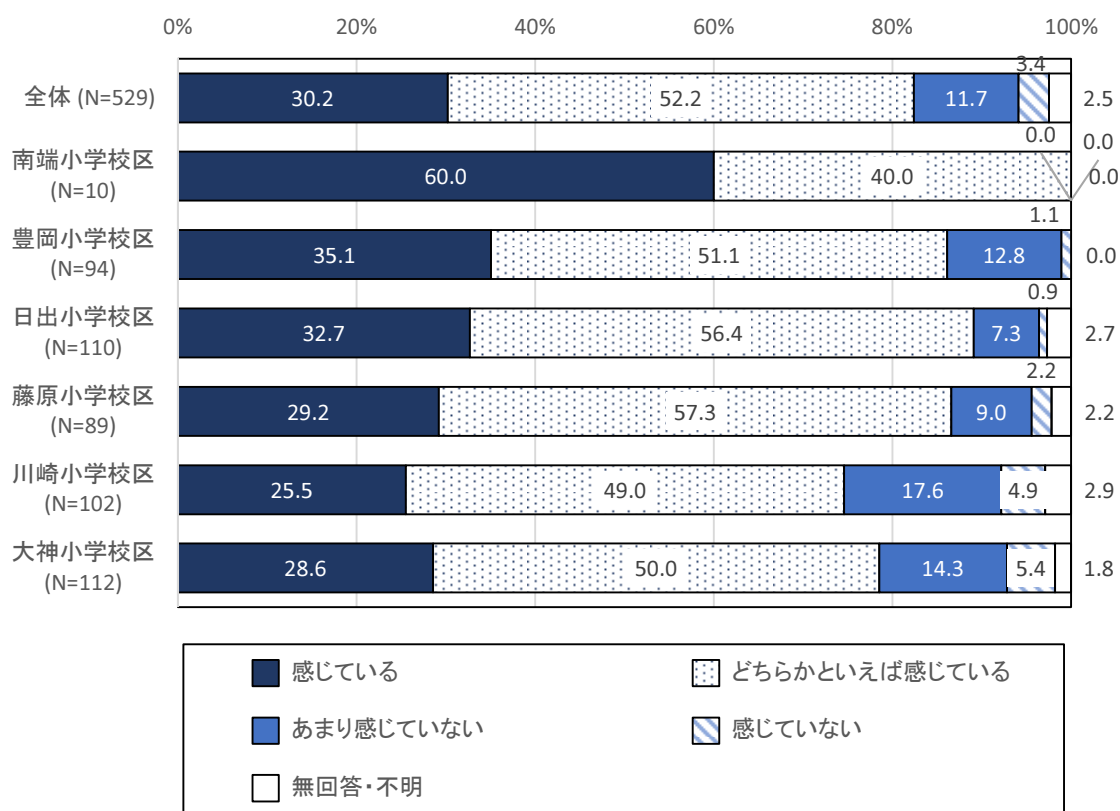
<複数回答>
N=529



「福祉サービスに関する情報提供を充実する」が最も高く 59.9%でした。次いで、「福祉サービスの選択についての相談対応を充実する」が 30.8%でした。

(4)安全・安心の取り組みについて

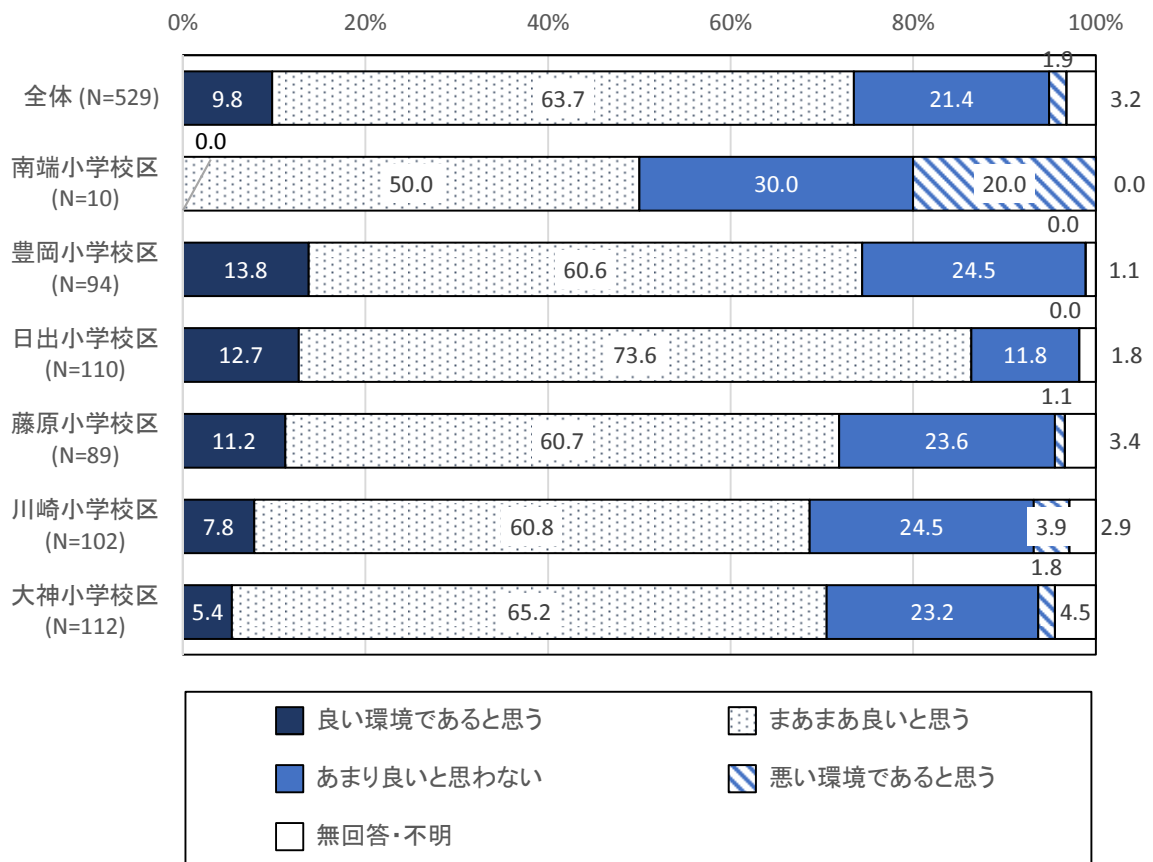
① 地域の中で安心して生活できていると感じているか



「どちらかといえば感じている」が52.2%、「感じている」が30.2%、「あまり感じていない」が11.7%、「感じていない」が3.4%となっています。

小学校区別にみると、南端小学校区以外の地区では、「どちらかといえば感じている」が最も高くなっています。川崎小学校区で「あまり感じていない」が17.6%で他の地区と比べて少し高くなっています。

②住んでいる地域は支援の必要な高齢者や障がいのある人、子育てをしている人にとって住みよい環境だと思うか

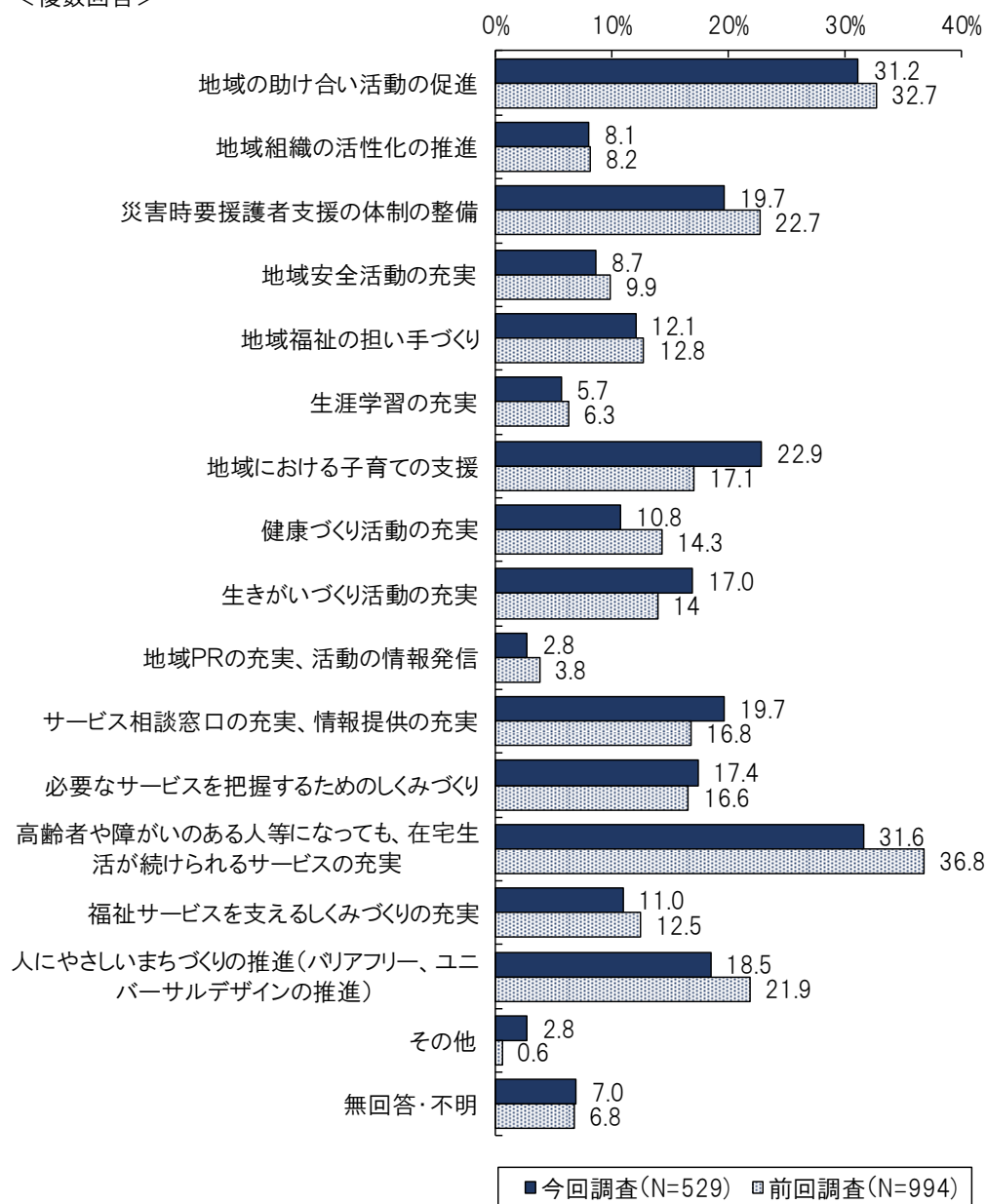


「まあまあ良いと思う」が 63.7%で最も高く、「あまり良いと思わない」が 21.4%、「良い環境であると思う」が9.8%、「悪い環境であると思う」が 1.9%となっています。「良い環境であると思う」と「まあまあ良いと思う」を合わせた『良いと思う』では、全体の7割以上を占めています。

(5)これからの福祉のあり方について

①日出町の地域福祉施策について重要と思うもの

<複数回答>



「高齢者や障がいのある人等になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が31.6%で最も高く、次いで、「地域の助け合い活動の促進」が31.2%となっています。

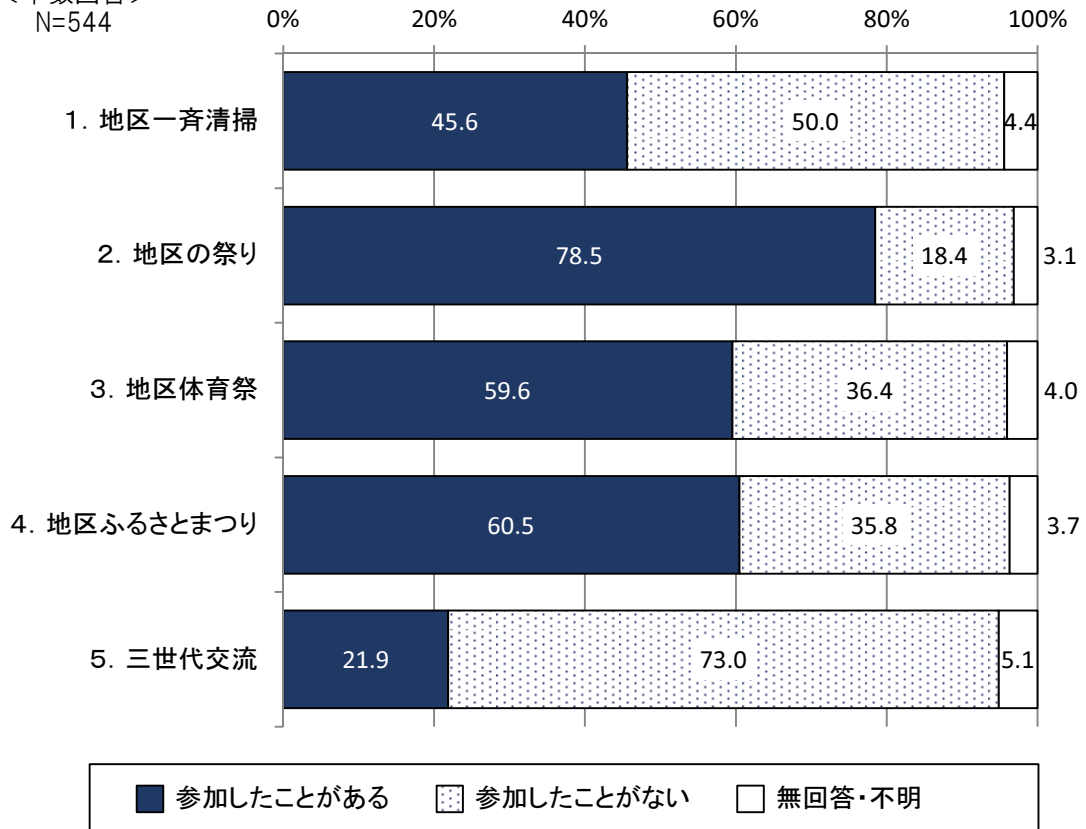
前回調査との比較では、「地域における子育ての支援」が17.1%から22.9%に増加しています。また、「高齢者や障がいのある人等になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が36.8%から31.6%へと減少しています。

6 中学生アンケート調査の概要

① 町内行事の参加について

<参加状況>

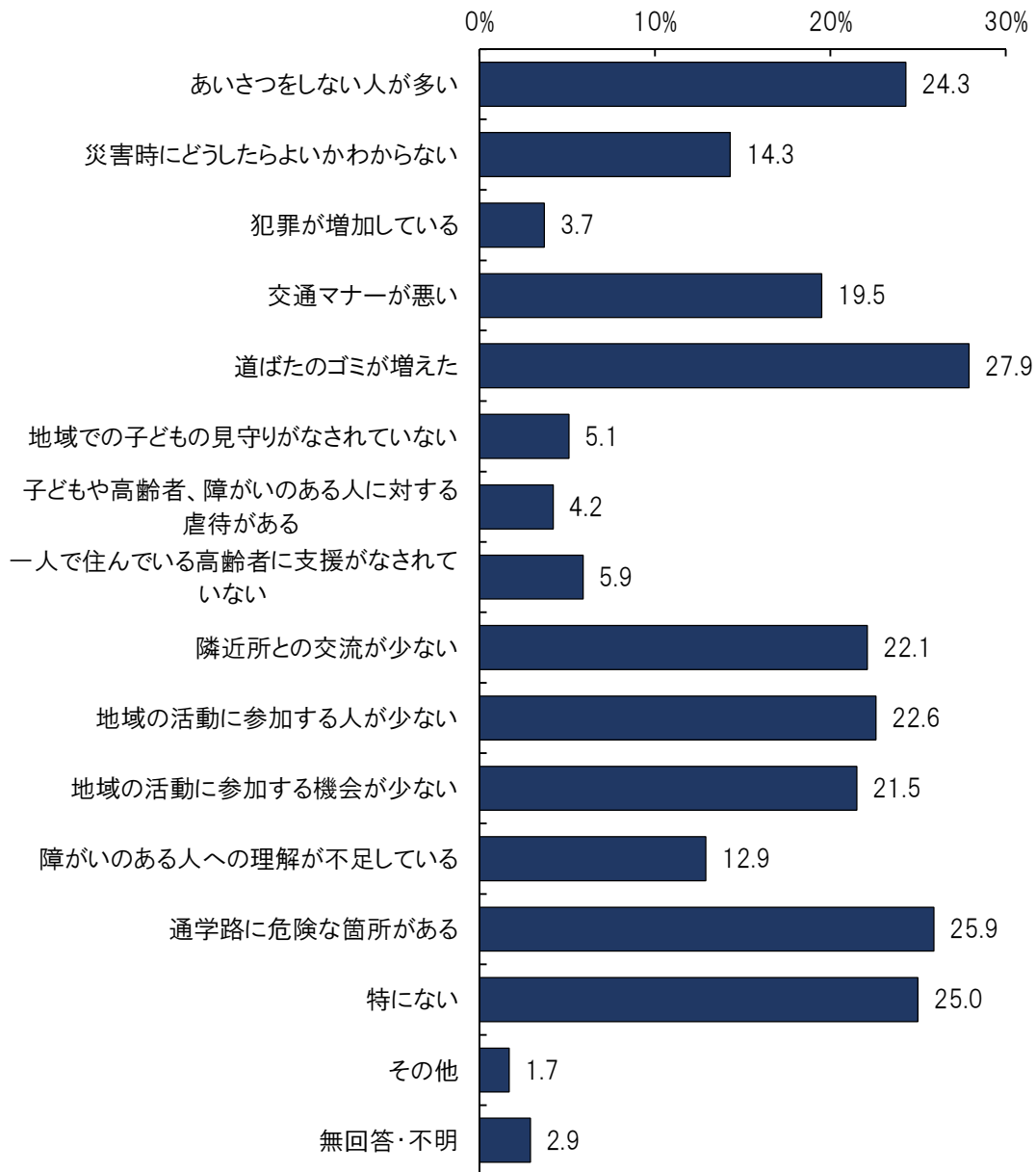
<単数回答>
N=544



町内行事の参加経験を聞いたところ、「参加したことがある」と回答した割合が最も高かったのは、「地区の祭り」で78.5%でした。次いで、「地区ふるさとまつり」が60.5%、「地区体育祭」が59.6%となっています。最も低かったのは「三世代交流」で21.9%となっています。

② 地域で問題となっていると思うことについて

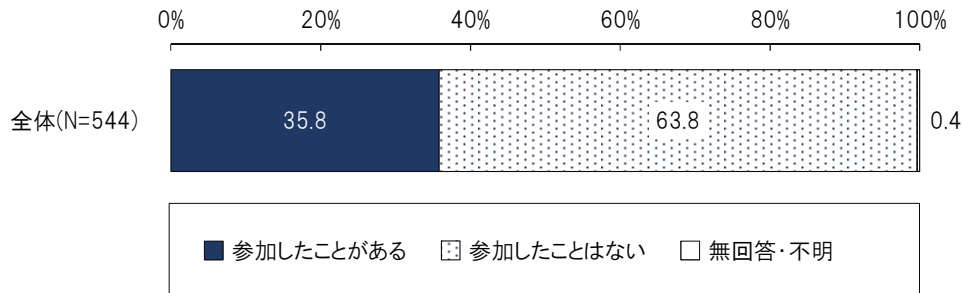
<複数回答>
N=544



「道ばたのゴミが増えた」が最も高く 27.9%でした。次いで、「通学路に危険な箇所がある」「特にない」「あいさつをしない人が多い」「地域の活動に参加する人が少ない」「隣近所との交流が少ない」「地域の活動に参加する機会が少ない」となっており、おおよそ 20~25%となっています。

③ ボランティア活動（学校以外）に参加したことがあるか

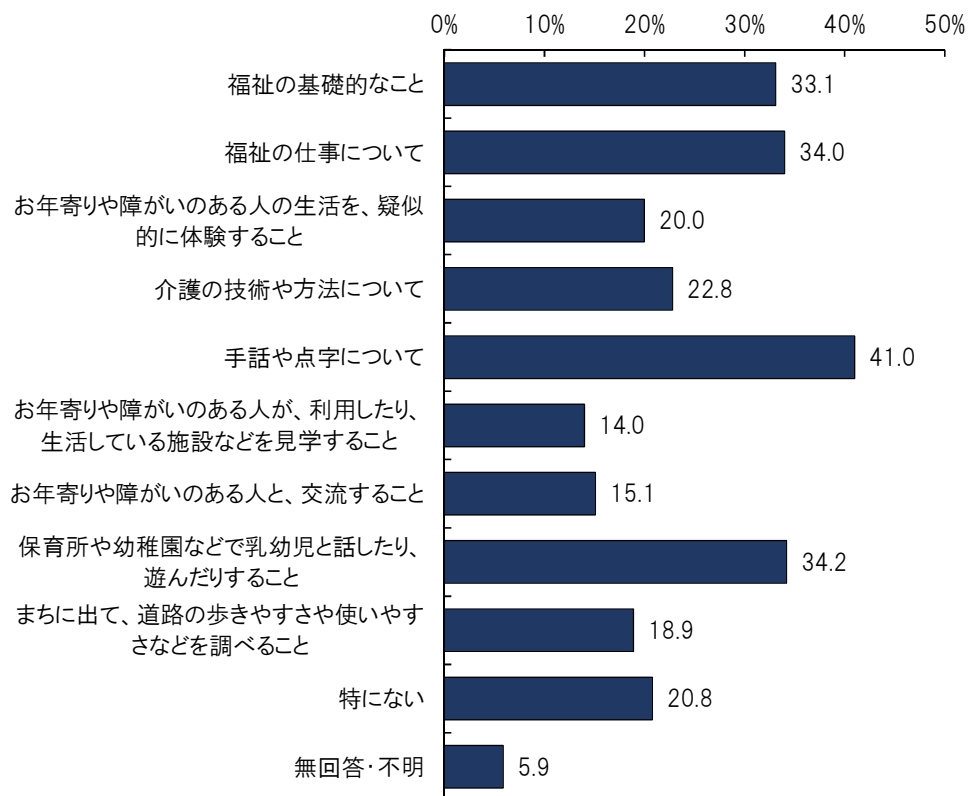
<単数回答>



「参加したことがある」が 35.8%、「参加したことはない」が 63.8%となっています。

④ 「福祉」について知りたいこと

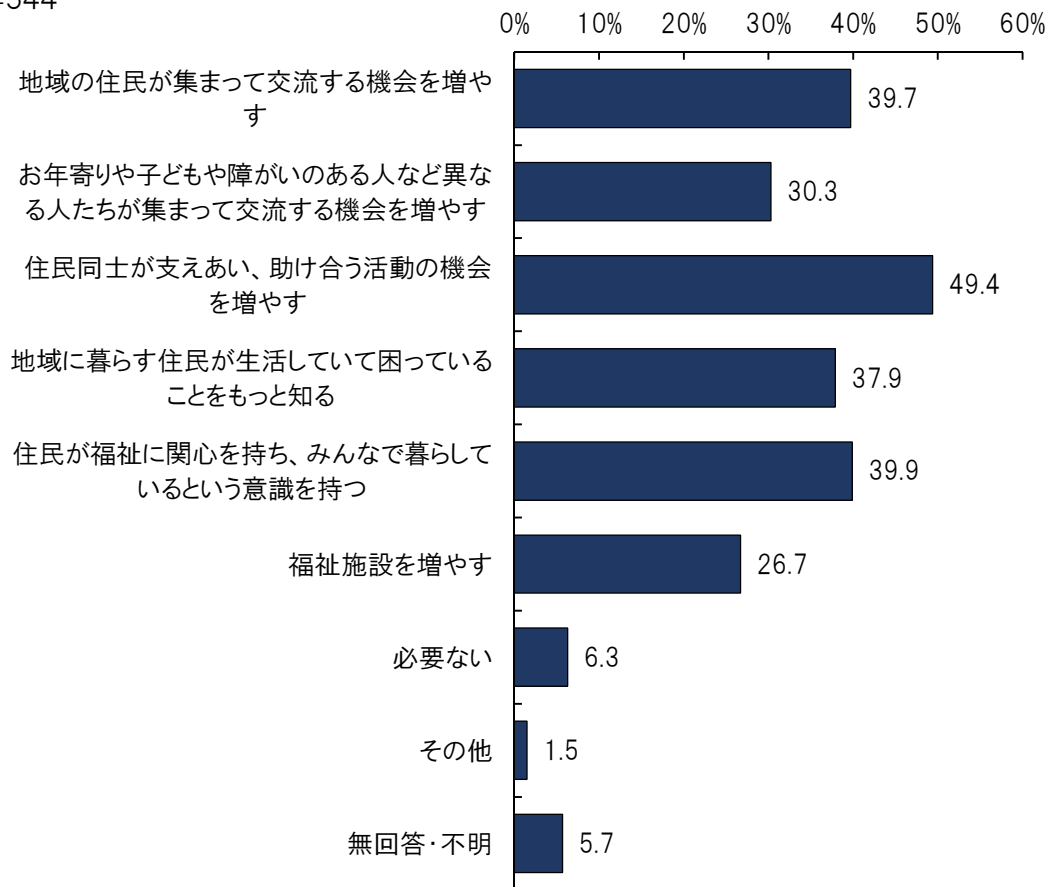
<複数回答>
N=544



「手話や点字について」が最も高く 41.0%でした。次いで、「保育所や幼稚園などで乳幼児と話したり、遊んだりすること」が 34.2%、「福祉の仕事について」が 34.0%、「福祉の基礎的なこと」が 33.1%となっています。

⑤ 住民みんなが幸せに暮らすために必要だと思うこと

<複数回答>
N=544



「住民同士が支えあい、助け合う活動の機会を増やす」が最も高く 49.4%でした。次いで、「住民が福祉に関心を持ち、みんなで暮らしているという意識を持つ」が 39.9%、「地域の住民が集まって交流する機会を増やす」が 39.7%となっています。

7 まちづくり座談会の結果

住民座談会の主な意見を掲載します。

地区	主な意見
南端地区	<ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉における役割、リーダーの育成等といっても、高齢化が進み、地区を維持しお互いに支え合うことが難しくなっている。 ②地区の行事もできなくなっている。 ③帰ってこない若い人をどうやって呼び戻すか。 ④学校の跡地を活用できないだろうか。 ⑤行政と地域が一緒になり話をする会をもっとしてほしい。
豊岡・平道地区	<ul style="list-style-type: none"> ①地域福祉をつくるためには、行政、社会福祉協議会、区長、民生委員の縦横の情報共有が必要。 ②地域福祉を担う人たちが福祉制度をしっかり理解し、また住民に広報することも必要。介護保険制度や諸機関が何をしてくれるのかを住民に分かりやすく説明するべき。 ③人材を育成するには、子どもたちへの働きかけが大切。子どもが自然にボランティアをするように大人が見本を見せる。 ④行政は大卒、社会福祉協議会は地域に出てサービスの隙間を埋めることをしてほしい。 ⑤認知症徘徊ネットワークがH28年に立ち上がり、見守りの区域（エリア）を自治区で作成している。また、老人クラブ員が相互に訪問する（安否確認）している地区もある。そうした活動を広めていき、そうした情報を共有したい。 ⑥車いすの人が住んでいるアパートの大家さんがスロープを付けてくれた。感激してずっとこのまちに住み続けたいといった。 ⑦障がい者条例の広報については、分かりやすく説明してほしい。
日出地区	<ul style="list-style-type: none"> ①区で見守り体制を作っているが、立場によって情報を知らない場合がある。やはり情報の共有が必要。独居老人等の現状や困りごとの内容等が分かりにくいので、把握している困りごとが何なのか等分かるようになると活動しやすい。 ②地区の担当を決めて社会福祉協議会も一緒に地域の福祉体制を支援してほしい。地区のみで担うのも限界がある。 ③役場にあった相談内容を地元を開示してほしい。役場と地域との情報共有体制を構築できないか。ネットワークの構築にはそれが最も必要。 ④公民館のスロープがないのは、合理的配慮ができていないのでは？ ⑤障がい者のことについては、障がい者と一緒に話し合うべき。

地区	主な意見
藤原地区	<p>①これからの地域を考えるには、地元の人も若い世代と交われるよう私たちの意識を変えていかなければならない。古き良き美風では進まなくなっている。</p> <p>②転入した若い世代が地区の事に関心がなく、これからのことを考えると、声かけするにしても、見守るにしても、他者のことを知らないということが課題となる。</p> <p>③住民の地区行事は、横のつながりを強める方法として良い。知恵を出して、工夫をして残す行事、参加できるものを作っていきたい。</p> <p>④地域の役を積極的にやりたがらない人は多いのも事実だが、興味あるひともあることも事実。そうした人の背中をどのようにおしてやるかが大切では？そうした人たちに、地域の担い手になることのやりがいなどのメリットを伝えることも必要。</p> <p>⑥地区の行事に参加しない人、関心のない人に対してどのように働きかけていくべきか。</p> <p>⑦見守りとして、「お茶飲まんかえ」などと声をかけるなど自分たちでもできそうなことから始める。また、そうしたことができるようになるためのやり方とかも教えてもらいたいし、行政がどこまでできるか、考えてほしい。</p>
川崎地区	<p>①人権、プライバシーの問題で情報がなく、地域行事の維持すらできない。役場や社会福祉協議会から情報を伝達してほしい。情報がみんなに伝わるようにしてほしい。</p> <p>②これからの地域の事を考えて取り組むためにも、他の市町村の好事例を紹介してもらいたい。</p> <p>③老人会であっても役割が多く、次の人材が出てこない。</p> <p>④区などせまい地域での行事を増やし、今あるものを発展させる、行事をもっと楽しいものにする。</p> <p>⑤訪問しても「来なくていいよ」と言われる（本音が聞けない）。「福祉推進員」を設け、地域の見守り役として各役職等と連携したらよいのではないか。</p> <p>⑥障がい者の人と触れあう機会をつくるのがよいと思う。</p>

地区	主な意見
大神・真那井地区	<ul style="list-style-type: none"> ①社会福祉協議会が何をやっているのかよく分かっていないので、きちんとしたPRが必要。 ②民生委員の数が少ない。 ③ボランティアを組織するにしても費用がかかるが、行政にはそうした援助もしてもらいたい。 ④高齢世代と青年部世代との交流を活発にしなければいけない。 ⑤困っている人がどのようなところが困っているかとか彼らの本音を把握することが難しい。 ⑥ちょっとした集まりを開いて、繋がりを継続している活動を行っている。 ⑦区独自の避難訓練を行っている。津波と地震それぞれを想定し、訓練当日までは災害の内容を知らせないようにしているところもある。 ⑧老人会の集まりの時に、行政職員が人権について説明したほうが、広報誌を配るより啓発につながる。

